

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	101 芭蕉祭執行等経費	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
		目	08	芭蕉顕彰費
基本 施策	35 文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	細目	133	芭蕉顕彰経費
		細目	51	芭蕉祭執行等経費
		細目		
行革大綱の重点事項番号		11300		担当者 氏名
担当部課	コード	11300	担当者 氏名	福島 礼子
	名称	企画総務部企画課		連絡先 (内線)
				22 - 9621 2115

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	芭蕉翁を顕彰する人 園児、小学生、中学生、高校生(主に市内の学校、園)	※対象件数
成果(どうする)	世代に関わらず松尾芭蕉を顕彰することができる。 俳句の普及とともに伊賀市をPRできる	
根拠法令・要綱等	俳文学関係著作に係る文部科学大臣賞授賞に関する要綱(文部科学大臣賞の授賞のみ関係)	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
H22 事業 内容	(財)芭蕉翁顕彰会に事業委託をし、市との共催で10月12日に事業を実施。 ①記念講演会 ②墓前法要等 ③式典(上野公園内俳聖殿前広場) ④芭蕉祭行事(市内各地) ⑤協賛行事(市内各地) ⑥義仲寺展覧 ⑦芭蕉さんを偲ぶ会(市内各小学校)	
社会情勢 の変化等	式典のケーブルテレビ及びインターネット生放送を取りやめ、委託料を900千円減額した。 これまで委託業務に含まれていた俳文学関係著作に係る文部科学大臣賞選考委員会と子ども俳句大会を19年度より行政で行うこととなり、これに係る必要経費を予算化した。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
芭蕉祭ポスター掲示部数	部	部	目標 350 実績 370	目標 370 実績 370	370	370
	芭蕉祭市民バンド練習回数	回	目標 10 実績 9	目標 10 実績 9	9	9

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
芭蕉翁献詠俳句投句数	投句数の増が俳句の浸透を表す 指標となる	句	目標 45000 実績 40408	目標 45000 実績 42662	45000	45000	
	芭蕉翁献詠俳句投句数(一般)	投句数の増が俳句の浸透を表す 指標となる	句	目標 15000 実績 10784	目標 15000 実績 9910	11000	11000

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの 財源 内訳	国庫支出金	9,326	9,076	9,569	9,570
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	9,326	9,076	9,569	9,570
事業投入人件費(B)		0.6人 4,320	0.6人 4,320	0.6人 4,320	0.6人 4,320
フルコスト(A)+(B)		13,646	13,396	13,889	13,890

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
有効性	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
達成度	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
効率性	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
改善策	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無	無
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
昨年度の取組状況	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	○
	【事業名】 しぐれ忌事業	
	受益者負担を求められることができる事業である。	
今後の方向性(Action)	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	
	昨年度の取組結果に基づく改善策への取り組み状況	
	改善策	25年度までに委託業務内容の見直しを行い、芭蕉祭個別事業において参加者実績が低い事業の廃止を検討する。
現状	【状況】	計画のとおり進んでいる
	【詳細】	
	昨年度の取組状況	業務内容の見直しを行い、芭蕉祭に実施していた事業の一部を廃止した。
	今後の方向性(Action)	
担当課長氏名	藤山 善之	
	【方向性】	現状維持
	【理由】	
	事業の方向性	文化伝承の視点から事業を継続する必要がある。
現時点における課題、その他	芭蕉祭運営業務を財団法人芭蕉翁顕彰会へ業務委託しているものの、共同開催として事業を実施していることから、事業の見直しには同財団との協議が必要である。	
	課題、その他に対する改善策	
	(いつまでに、何を、どうする)	
	24年度以降は芭蕉祭における会場設営業務に関して財団に委託できるように協議する。	